

議会だより

ながのはらまち

謹賀新年

2018

JANUARY

1

No. 114

11月臨時会や12月定例会の内容をお伝えします

目次 CONTENTS

12月定例会の概要・内容

12月定例会

2-3

全案件を可決

中央こども園整備へ条例制定

4

給与条例など6条例を改正

5

長栄橋架替へ委託料追加

6-7

長栄橋架替、国交省へ委託

7

道路拡幅陳情、条件付採択

8

ここが知りたい！一般質問

9-12

議会活動報告

13-15

写真：上毛かるた競技長野原町大会（関連15）



一般質問で次期町長選出馬の意向を問われ、答弁する萩原町長

12月定例会 全案件を可決

平成29年12月第4回長野原町議会定例会は会期を12月6日から20日までの15日間とし、同月6日・13日・20日に本会議が開かれました。

全22議案 原案どおり可決

12月定例会では条例制定・改正12件、補正予算7件や長栄橋架替工事をはじめとした工事・事業委託契約締結2件など全22議案（詳細3ページ）を原案のとおり可決しました。

また、11月30日までに受理された陳情4件は定例会初日に各常任委員会へ付託され、慎重審議の結果、採択4件となりました。（関連8ページ）

なお定例会3日目（20日）に行われた一般質問は黒岩議員と牧山議員が登壇し、質問を行いました。（関連9～12ページ）

一般質問で町長選 出馬意向問う

今回の一般質問で黒岩議員が平成30年4月に行われる予定の町長選挙について質問し、萩原町長へ出馬の意向を問いました。この質問に対し萩原町長は「次期4年は『より活力ある町づくり』に



▲萩原町長による各議案提案説明の様子(12月6日)

まい進していきたい」と次期町長選挙へ出馬の意向を示しました。（関連12ページ）

萩原町長は平成30年4月29日に任期満了となります。



長野原町マスコットキャラクター
にやがのはら

■ 1 2 月定例会で可決した議案一覧（順不同）

議案番号	議案名	内 容	備 考
1号	特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担に関する条例	中央幼稚園と保育所を統合し、認定こども園とするため利用料などの規定を整備する条例制定。	4 号
2号	町立幼稚園保育料徴収条例等を廃止する条例	上記条例制定に伴い、町立幼稚園保育料徴収条例と町立保育所設置条例を廃止する条例制定。	4 号
3号	職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	人事院勧告が閣議決定され、県人事委員会の勧告どおり職員の月例給ならびに勤勉手当などの引き上げを行い、町長や副町長、教育長、議員の期末手当についても引き上げを行う条例改正。	5 号
4号	町長、副町長及び教育長の諸給与条例の一部を改正する条例		
5号	議会の議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例		
6号	職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	関連法律の改正に伴い、主に非常勤職員の育児休業に関する要件を緩和する条例改正。	5 号
7号	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	農地利用最適化推進委員における年間報酬を農業委員の年間報酬と同額にし、農業委員長や会長職務代理を含め能率給を追加する条例改正。	5 号
8号	布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部を改正する条例	主要水道施設の一括管理が可能となったため、上水道と簡易水道の布設工事監督者・水道技術管理者の資格基準を統一する条例改正。	5 号
9号	町立学校設置条例の一部を改正する条例	中央幼稚園と保育所を統合し、認定こども園とするため関連する条例の条文を整備する条例改正。	4 号
10号	町立学校給食センターの設置、管理及び運営に関する条例の一部を改正する条例		
11号	町立学校統合問題審議会設置条例の一部を改正する条例		
12号	町立認定こども園条例の一部を改正する条例		
13号	事業委託契約の締結（上湯原森林公園整備事業）	ハッ場ダム建設に伴う公園・遊歩道などの整備事業（上湯原森林公園整備事業）の委託契約を締結するもの。	7 号
14号	普通財産の譲渡	町と国土交通省間で結んだ覚書に基づいて町所有の普通財産を譲渡するもの。	5 号
15号	平成29年度一般会計補正予算（第6号）	歳入歳出にそれぞれ2億1,397万8千円を追加し、予算総額を94億1,061万円とする補正予算。	6 ～ 7 号
16号	平成29年度国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	歳入歳出にそれぞれ6,879万4千円を追加し、予算総額を9億7,433万円とする補正予算。	
17号	平成29年度へき地診療所特別会計補正予算（第3号）	歳入歳出にそれぞれ58万6千円を追加し、予算総額を8,378万4千円とする補正予算。	
18号	平成29年度農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）	歳入歳出にそれぞれ6万円を追加し、予算総額を6,649万8千円とする補正予算。	
19号	平成29年度公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）	歳入歳出にそれぞれ22万6千円を追加し、予算総額を1億5,462万7千円とする補正予算。	
20号	平成29年度介護保険特別会計補正予算（第2号）	歳入歳出にそれぞれ53万6千円を追加し、予算総額を5億5,848万2千円とする補正予算。	
21号	平成29年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	歳入歳出にそれぞれ46万2千円を追加し、予算総額を8,439万3千円とする補正予算。	
22号	工事委託契約の締結（町道遠西萩の平線長栄橋架替工事）	長栄橋架替工事委託契約を国土交通省と締結するもの。	7 号

中央こども園 整備へ条例制定

関連条例
制定・廃止・改正

町立保育所と中央幼稚園を統合し、新たに中央こども園とすることに伴う条例制定・廃止・改正



▲中央こども園舎となる予定の現中央幼稚園

6件（左表参照）を原案の
とおり可決しました。
（12月6日・本会議）

主な内容は中央こども園整備に伴い、保育所・幼稚園関連条例を廃止し、新たに認定こども園

■中央こども園整備に関わる条例制定・廃止・改正一覧

議案名	種別
特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担に関する条例	制定
町立幼稚園保育料徴収条例等を廃止する条例	廃止
町立学校設置条例の一部を改正する条例	改正
町立学校給食センターの設置、管理及び運営に関する条例の一部を改正する条例	
町立学校統合問題審議会設置条例の一部を改正する条例	
町立認定こども園条例の一部を改正する条例	

の利用料などに関する条例を制定するものです。また、その他関連条例改正では条文中の「幼稚園」を「認定こども園」に改めるなどの条文整備を行いました。

なお、今回の条例制定などは平成30年4月1日から施行されます。

11月臨時会

補助の 特別措置継続求める

道路整備事業の補助率かさ上げ措置

平成29年11月第4回長野県議会臨時会が11月9日に開かれました。

この臨時会において専決処分（一般会計補正予算）の承認1件、意見書の提出1件を原案のとおり承認・可決しました。

第48回衆院選の 経費を補正

今回承認された専決処分は平成29年10月22日執行の「第48回衆議院議員総選挙（最高裁判所裁判官国民審査）」に伴う平成29年度一般会計補正予算（第5号）です。選挙にかかる経費594万4千円を追加補正し、歳入

歳出総額を91億9663万2千円としました。

道路整備補助の 意見書提出

今回提出された「市町村道路関係予算の確保及び道路整備に係る補助率等の嵩上げ措置の継続を求める意見書」を原案のとおり可決し、関係機関へ提出することとしました。

この意見書は財政状況が厳しい市町村の道路事業を着実に進展させるため、国へ交付金予算を持続的に確保することや、平成29年度末に期限となる補助率かさ上げ措置の延長を求めるものです。

■その他条例改正・可決議案一覧

番号	議案名
①	職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例
	町長、副町長及び教育長の諸給与条例の一部を改正する条例
②	議会の議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例
③	職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例
④	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例
⑤	布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部を改正する条例
⑥	普通財産の譲渡



▲各議案とも慎重審議がなされました（12月6日・本会議）

その他条例改正・普通財産の譲渡 給与条例など 6 条例を改正

人事院勧告に伴う給与
条例改正をはじめとした
条例改正6件、普通財産
の譲渡1件（左表参照）
を原案のとおり可決しま
した。（12月6日・本会議）

① 勧告どおり期末・ 勤勉手当引上

人事院勧告に伴い、議
員はじめ町長や職員など
に関わる給与条例3件を
改正し、期末・勤勉手当

などの引き上げを行いま
した。

② 育児休業の 要件を緩和

関連法律の改正に伴い
町臨時職員が育児休業を
取得できる要件を緩和し
ました。

③ 推進委員の 報酬を引上

県内約8割が農業委員

④ 工事・管理の 資格基準統一

上水道と簡易水道の布
設工事監督者および水道
技術管理者の資格基準を
統一し、主に実務経験年
数の規定を簡易水道の基
準に合わせました。

と農地利用最適化推進委
員の報酬額（年額）が同
額であることから、両委
員の報酬額を統一するな
どの改正を行いました。

質疑応答

Q. 資格基準統一の
理由は

問 牧山議員 布設工
事監督者と水道技
術管理者の資格基準を簡
易水道に合わせる理由は。

A. 技術的に対応可
能のため

答 上下水道課長 町
の上水道・簡易水



道は取水・浄化方法、配
水池の構造が同じであ
り、両水道とも水源を地
下水と湧水でまかなって
いる。また使用施設に監
視システムを導入してお
り、配水池の水位や取水
量などを一括管理してい
る。これらのことから技
術的にも対応可能である
ため、資格基準を簡易水道
に合わせるものである。

⑤ 代替地内 町敷地を譲渡

国土交通省が造成工事
を実施している横壁地域
振興施設の整備予定地内
における町所有敷地1件
3筆を、町と国土交通省
間で取り交わした覚書に
基づき譲渡しました。

平成29年度一般会計補正予算

長栄橋架替へ委託料追加

長栄橋架替の工事
委託契約締結につい
ても可決しました。
(7ページ参照)



長野原町マスコットキャラクター
にゃがのはら



平成31年度完成を目途に架替工事が行われる長栄橋

■平成29年度一般・特別会計補正予算表（12月定例会分）

会 計 名	補 正 額	補正後の総額
一 般 会 計	2億1,397万8千円	94億1,061万円
国民健康保険特別会計	6,879万4千円	9億7,433万円
へき地診療所特別会計	58万6千円	8,378万4千円
農業集落排水事業特別会計	6万円	6,649万8千円
公共下水道事業特別会計	22万6千円	1億5,462万7千円
介護保険特別会計	53万6千円	5億5,848万2千円
後期高齢者医療特別会計	46万2千円	8,439万3千円
合 計	2億8,464万2千円	—

一般会計補正予算につ
いては、人事院勧告に伴

長栄橋架替へ
8040万円

平成29年度一般・特別
会計7会計補正予算を原
案のとおり（左表参照）
可決しました。（12月13
日・本会議）

う給与改定による人件費
の追加や長栄橋架替事業
に伴う委託料8040万
円の追加、新規地域おこ
し協力隊員着任に伴う地
域おこし協力隊事業費1
71万7千円の追加など
が主な内容で、合計で2
億1397万8千円の追
加となりました。

☆「一般被保険者療養給付費」とは

義務教育就学後～70歳未満の人（一般被保険者）が保険証をもって医療
機関などにかかった際に支払う自己負担分以外のお金（現物給付）のこと。

国民健康保険特別会計
やへき地診療所特別会計
など計6会計の特別会計
補正予算を原案のとおり
（上表参照）可決しました。
国民健康保険特別会計
補正予算は、一般被保険
者療養給付費6074万
1千円などの追加が主な
内容で、その他会計につ
いては主に人件費の追加
が主な内容の増額補正と
なりました。

国保特別会計 療養給付費追加

▼長栄橋位置図



☞特別会計について

⇒地方公共団体が特定の事業を行う際、一般会計と区分し
て経理する必要がある場合に条例で設置する会計です。

質疑応答

Q① 新規地協隊の職務内容は

黒岩議員 (一般会計補正予算) 既存の地域おこし協力隊員に加え、新規に5名着任とのことだが、どのような職務を行うのか。

A① 酪農ヘルパー業務を行う

企画政策課長 新規に着任する地域おこし協力隊についてはみるく村を事務所とし、酪農ヘルパー

現在の長栄橋は幅員が狭いため、国土交通省と協議の上、新長栄橋は幅員を拡幅する予定としており、拡幅部分は町の負担となります。



長野原町マスコットキャラクターにやがのはら

業務に就いていただく。最長3年間の任期の中で経験を積んでいただき、その後は現地でヘルパー業務ができるよう進めている。

Q② 長栄橋総工費と町負担額は

富澤議員 (一般会計補正予算) 長栄橋架替に伴う委託料8040万円を増額補正するが、この事業の総工費や最終的な町の負担額はいくらになるのか。

A② 町の負担額は2億円程度

ダム担当副町長 今回の補正については長栄橋の橋台部分における町の負担額である。総工費については現在試算中ではあるが、最終的な町の負担額は今回の8040万を含めて2億円程度だと試算している。

長栄橋架替、 国交省へ委託

森林公園 整備事業を委託

上湯原(川原湯) 森林公園整備事業委託契約の締結について、無記名投票により採決し、全員賛成で可決しました。(12月6日・本会議)

■契約の目的

ハッ場ダム建設に伴う公園・遊歩道等事業(上湯原森林公園整備事業)

■契約金額

1億525万8千円(うち取引に係る消費税および地方消費税の額779万6888円)

■契約の相手方

国土交通省関東地方整備局長 泊 宏

長栄橋 架替工事を委託

町道遠西萩の平線長栄橋架替工事を委託の締結について無記名投票により採決し、全員賛成で可決



▲道の駅ハッ場ふるさと館よりかかる不動大橋から眺望できる「不動の滝」

上湯原森林公園整備事業では不動の滝の鑑賞性向上へ調査・検討を行い、川原湯地区の遊歩道整備へ向けた測量や工事を行います。

長野原町マスコットキャラクターにやがのはら



しました。(12月20日・本会議)

■契約の目的

町道遠西萩の平線長栄橋架替工事

■契約金額

8040万円(うち取引に係る消費税および地方消費税の額595万5554円)

■契約の相手方

国土交通省関東地方整備局長 泊 宏

☞長栄橋の架替について

⇒近年の集中豪雨などによる河川増水に備え、国土交通省は長栄橋付近の護岸工事を計画しています。しかし、現在の長栄橋が工事の支障となることから国土交通省が架替工事を実施することになりました。

陳情

道路拡幅陳情、条件付採択

産業建設常任委員会

道路拡幅陳情、条件付採択



受理番号第24号陳情箇所
調査を行い、検討した上で対応することとしました

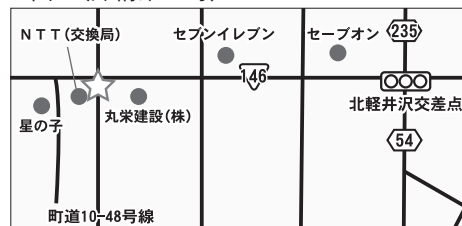
12月6日（水）開催の12月定例会初日に4件の陳情が各常任委員会へ付託され、同日に審議を行いました。各常任委員会の審議結果については次のとおりです。

文 山開セ付近 消火栓補修補助

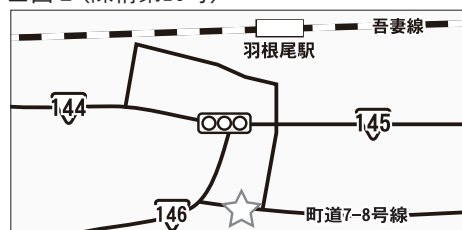
総務文教常任委員会に付託された受理番号22号の山村開発センター駐車場の消火栓補修の補

助を求める陳情については75%補助の採択とし、受理番号23号の羽根尾公民館付近の横断歩道移設を求める陳情については関係機関へ要望することとしました。

■図1（陳情第24号）



■図2（陳情第25号）



☆：陳情箇所 △：国道 ◇：県道 ○：信号



▲受理番号第25号陳情箇所

産業建設常任委員会に付託された陳情2件（受理番号24号・25号）は道路の拡幅工事を求めるものです。それぞれ更なる状況調査や関係者との調整などが必要であると判断し、調査・検討・調整後対応の条件付き採択としました。

産 建 羽根尾・北軽 道路拡幅工事採択

☆常任委員会とは

議会が条例で設置できる（任意制の）委員会。各部門に属する事務調査や議案・請願などを審査する。

■総務文教常任委員会：町財政や社会福祉、民生、教育など

■産業建設常任委員会：産業経済や地域振興、土木建設、上下水道など

■請願・陳情の審査結果一覧

	受理番号	件 名	提 出 者	内 容	結 果
総務文教常任委員会	22号	与喜屋地内消防設備消火栓補修の陳情	与喜屋区長 丸山 実司	山村開発センター駐車場付近の消火栓補修の補助をお願いする陳情	採 択 (75%補助)
	23号	横断歩道の移設についての陳情	羽根尾区長 熊川美津男	羽根尾公民館付近の横断歩道移設をお願いする陳情	採 択 (関係機関へ要望)
産業建設常任委員会	24号	国道146号線から町道10-48号線に入るNTT交換所と丸栄建設の両側の角取りについての陳情	北軽井沢区長 石田 俊雄	国道146号線から町道10-48号線に入る入口の拡幅をお願いする陳情（図1参照）	採 択 (調査検討後に対応)
	25号	町道7-8号線の一部片面の拡幅工事についての陳情	羽根尾区長 熊川美津男	町道7-8号線の一部拡幅をお願いする陳情（図2参照）	採 択 (関係者と調整後に対応)

☞請願・陳情の付託

⇒請願・陳情の各常任委員会への付託は3・6・9・12月の定例会で行われます。請願・陳情の締切は定例会前月の末日までです。

ここが知りたい！

一般質問

質問者	質問内容	ページ
牧山 明 議員	地域包括ケアシステム ①システム構築への考えは	10
	西吾妻福祉病院 ②地域医療構想、影響あるか	11
黒岩 巧 議員	次期町長選へ出馬の意向は	12

次期町長選・ 地域福祉問う

一般質問に 牧山・黒岩議員

一般質問とは定例会において、各議員が住民の代表として町の考え方や疑問を正すものです。

12月定例会では牧山議員と黒岩議員の2名が登壇し、一般質問を行いました。（詳細9～12ページ）

今回の一般質問において、牧山議員は地域で一体的に医療・介護・生活支援などの福祉サービスを提供する「地域包括ケアシステム」や地域の実情に応じた医療施策の方向性を定める「地域医療構想」についての質問を行い、町の福祉・医療につ

いての考えを問いました。

また、黒岩議員は平成30年4月に予定されている町長選挙についての質問を行い、萩原町長へ出馬の意向を問いました。

なお紙面の都合により、内容の要約などを行った上で掲載しています。



▲萩原町長へ次期町長選出馬の意向を問う黒岩議員



牧山 明 議員

地域包括ケアシステム システム構築への考えは

答

介護サービスなど
一体的支援
提供へ推進図る

問

2025年に団塊の世代が75歳以上となる。これをめどに重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で暮らし続けられるよう医療や介護などの各分野が一体的に提供される「地域包括ケアシステム」の構築実現が求められている。これに対する町の考え方と現在の取組状況はどうなっているのか。

答

町長 町の考え方として、町高齢者福祉計画や介護保険事業計画（第6期）において「みんなの力で生涯いきいきと安心して暮らせる町」を基本理念とし、高齢者が健康で安心して暮

問

介護サービスなどの事業所が町に不足している。例えば要介護認定3以下のため「からまつ荘」などの施設に入所できない方向けの施設や在宅療養に必要なサービスを町は提供できていないのではないか。

答

町長 システムの構築には自助・互助・共助・公助の連携が重要で、特に自らが健康に注意を払うなどの自助が基本かつ重要であると考えている。民間のサービスなどが不足しているという指摘だが、田舎の自治体が民間へ過度に期待するのは難しい。そういった時にこそボランティアのよ

問

自助・互助の重要性については否定しないが、やはり現実的に公助の部分が町に不足している。

答

町長 公助の不足については反省すべき点があると考えている。それを考えていくのが「地域ケア会議」であり、現状を把握しながら議論しているところ。まさに今年度から開始した外出支援バス運行事業は公助によるものであるが、このようなものが上手く回っていない部分があるので臨機応変かつスピード感をもって変えていくことも重要である。国の方針は在宅療養を中心で進めているが、町で上手くいくのかは疑問である。議員皆さまと相談しながら取り組んでいきたい。

問

西吾妻福祉病院

地域医療構想、影響あるか

答

現在のところ 影響無い

問

地域医療構想の策定が各都道府県に義務付けられ、群馬県では現行の保健医療計画（第7次）に追記される形で改定が行われた。この中で吾妻郡における2025年の必要病床数は572床となっており、2015年7月の133



▲産科医療継続を決めた西吾妻福祉病院

答

町長 この約57%という数値は減床

数ではなく、主に栗生楽泉園の不要病床数を示している。必ずしも削減される病床数でないことから、現在のところ当病院も含め削減の予定はない。

また、昨年行われた「西吾妻福祉病院あり方検討委員会」により、救

5床と比べ約57%の減となっているが、この数値はどのような病床が減ることを示すのか。これにより地域の中核的病院である西吾妻福祉病院はどのような影響を受けるのか。また、地域住民から信頼される病院に向けた改革について考えを伺う。

問

当病院の建設当初は本当の意味で地域に根付いた病院を目指していたと思う。情報発信という点で、病院の現状や地域医療構想などの

情報が議員や町民へほとんど伝わっていないがどのように考えているか。

また、国の方針から今後は在宅療養が増えていくと予想される。新たな

急医療の充実・産科医療継続などの方向性を決め「新公立病院改革プラン」を策定した。
療養病床については、介護老人保健施設などへの変更や国から示される予定の施設系サービスへの変更、療養病床廃止の3案がある。これについては国から方向性が示された段階で検討する予定である。今後も地域住民から信頼される病院となるよう努力していきたい。

答

町長 指摘の通り町は情報発信に

考えとして、この病院に療養病床・がんの緩和ケア病床などを作ることが考えられる。これらのようなサービスを地域で受けられる仕組みを作り、情報発信しながら地域医療が後退・縮小しないよう取り組んでいきたい。

力を行ってきたつもりである。当病院については情報誌第1号を発行させていただき、本町はじめ草津町・嬬恋村・中之条町（六合地区）に全戸配布し、第2号も予定している。

提案の療養病床・緩和ケア病床については良い考えかと思う。いずれにしても国の方針が出た段階で、病床について再度議論していくべきだと考えている。

問 次期町長選へ 出馬の意向は



黒岩 巧 議員

答

萩原町長出馬表明

より良い
町づくりへまい進

問

萩原町長は平成26年4月の町長就任以来、約3年8ヶ月にわたり長野原町長としての重責を担ってきた。

これまで「明るく活力ある町づくり」を基本理念に、産業振興や子育て支援などに注力し、新たな施策を打ち出してきたが、これら施策にも未だ芽が出ないものや花が咲いたものと色々あるかと思う。このような中、来年4月には任期満了に伴う町長選挙が予定されている。

率直に伺うが、2期目を目指して出馬の意向はあるのか。意向がある場合は、これまでの萩原町政を総括し2期目に対する

答

町長 3年8ヶ月の間、基本理念である「明るく活力ある町づくり」の下、様々な事業や施策を実行してきた。

これも議員をはじめ、町民皆さまのご支援・ご協力のたまものである。

出馬当初より「閉塞感を払拭する」と声を挙げてきたが、この閉塞感に一定の風穴を開けることができたとして自己評価している。

過日、後援会の席で多くの支持者の皆さまからも背中を押していただいた。次期4年は「より活力ある町づくり」にまい進していきたい。2年後

には八ッ場ダム事業が完成を迎える。ダムとともに生きていくために必要な組織の構築も行っていきたい。

また「学校給食費無料化」や「高齢者の居場所づくり」など子育て世代への経済的支援・高齢者への生きがい支援を実行するとともに、将来の観光立町を目指して八ッ場と浅間をつなげていきたい。更には基幹産業である農業への支援強化を行い、トップセールスも欠かすつもりはない。そして、日頃より提唱している「オール長野原」を次期4年で形にするために全身全霊で取り組む所存である。具体的なお公約については来年以降お示ししたい。

問

力強い出馬表明だと受け止めた。今まで言及しなかった学校

答

町長 町民からの要望も多く、議員数名から問われていた部分がある。貧困家庭や教育格差が社会問題となっている中、当町でも例外ではない。町長選において、公約の一つとして民意を問いたいと思っている。財源については「ふるさと納税」の使い道を子育て世代への経済的支援・高齢者への生きがい支援へ一本化し、活用したいと考えている。



▲出馬表明をする萩原町長

活動報告①
国県道
改良等促進
特別委員会

県道大笹北軽井沢線
平成31年度の
完成を目標

町内県道の
現地調査実施

国県道改良等促進特別
委員会の町内現地調査を
平成29年12月22日（金）
に行いました。

この調査では中之条土
本事務所の長野原事業所
長案内の下、県事業で道

路改良などを行っている
県道大笹北軽井沢線や県
道嬭恋応桑線を現地視察
し、現在の状況を全委員
で確認しました。

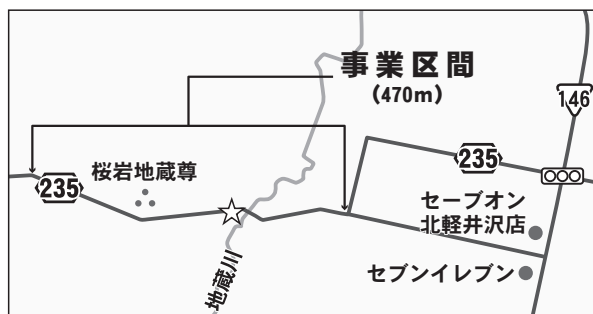
大笹北軽線
H31年度完成目標

県道大笹北軽井沢線は
現在地蔵川前後の拡幅工



▲県道大笹北軽井沢線にて（図①参照）

▼県道嬭恋応桑線（小宿橋工区）にて（図②参照）



▲図① 県道大笹北軽井沢線事業区間

▼図② 県道嬭恋応桑線事業区間（小宿橋工区）



▽：国道 ○：県道 ○○○：信号 ☆：写真撮影位置

嬭恋応桑線
H30年度完成へ

県道嬭恋応桑線は約
3・8kmの整備が完了し

工事を進めています。
平成31年度完成を目標に
なす、この道路改良は

事・線形改良などを行っ
ています（図①）。用地
問題や電柱・光ケーブル
移設による影響で時間を
要しており、用地交渉に
ついては未契約者数名と
の契約に向け交渉中です。

ており、現在小宿橋区間
（図②）の道路改良など
を行っています。橋台の
試掘や補強設計などで遅
れが生じていましたが、
平成30年度の完成を予定
しています。

■同特別委員（敬称略）

委員長 牧山 明
委員 入澤 信夫
委員 浅井 進
委員 入澤 勝彦
委員 大羽賀 進

活動報告②
議会広報
研修会

議会広報
意義・役割学ぶ

県内町村議会を対象と
する議会広報研修会が平
成29年11月15日、群馬県
市町村会館（前橋市）を
会場に開催され、町議会
広報委員で参加しました。

この研修では議会広報
サポーターの芳野氏を講
師に議会広報の意義・役
割や編集のポイントなど
を学びました。



▲研修会の様子

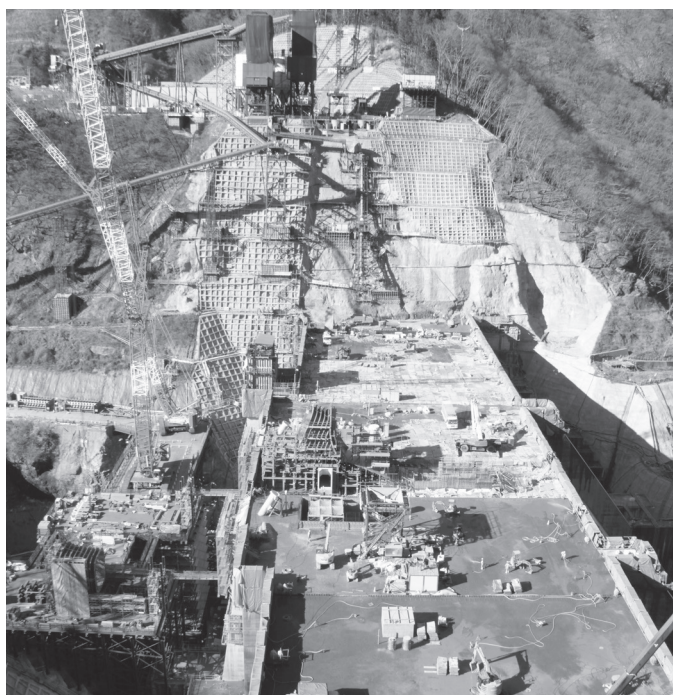
活動報告③ ハッ場ダム 建設工事 現場視察

ダム本体打設 約5割進捗

本体建設工事 現場を視察

平成29年12月20日、ハッ場ダム本体の建設工事現場視察を全議員で行いま

した。
当日は国土交通省ハッ場ダム工事事務所長や職員による案内の下、ダム本体の建設状況などを確認しました。ダムについ



▲▼約5割のコンクリート打設が完了しているハッ場ダム



ては高さ116mのうち約5割までコンクリート打設が進捗しています（視察時現在）。

また、国土交通省が実施している一般個人・団体向けハッ場ダム工事現場見学会「やんばツアーズ」は大変人気となっており、特に平成29年度の団体向けツアーの日程はほとんど予約で埋まっている状況です（視察時現在）。最新の情報についてはハッ場ダム工事事務所までお問い合わせください。

地方議会 あり方学ぶ

活動報告④ 群馬県 町村議会議員 研修会

群馬県町村議会議員研修会が平成29年10月27日、吉岡町文化センターを会場に開催され全議員で出席しました。

この研修会では、東京大学名誉教授の大森氏による「二元的代表制の真髄」と題した二代表制をとる地方公共団体の議

会における議員のあり方などについての講演がありました。

また、食生活ジャーナリストの会代表幹事の佐藤氏による「健康寿命を延ばすための食生活」と題した講演も行われ、議会・健康福祉の分野にわたる研修を受けました。



▲県内町村議会議員が一同に研修を受けました（大森氏講演の様子）

議会傍聴案内

あなたも
議会を傍聴しませんか？

次回定例会

3月 6日(火)
14日(水)
20日(火)

※発行日現在の予定

議会の様子はどなたでも傍聴することができます。

傍聴を希望される方は、議会開催日に直接議場（長野原町役場2階）までお越しください。

難しい手続きはなく、予約も不要です。受付簿に氏名など必須事項を記入の上、傍聴してください。会議中の入退室も自由です。

なお、開会時間は開催日によって異なります。傍聴を希望される際は長野原町議会事務局までお問い合わせください。

▶詳しくは長野原町議会事務局
(☎0279・82・3019)
までお問い合わせください。

活動報告⑤

長野原町
新年
交歓会

受勲者や町関係者を迎え

新年初めの 挨拶交わす



▲交歓会の様子



▲挨拶する唐沢さん

町新年交歓会が平成30年1月6日、山村開発センターを会場に開催され、全議員で出席しま

した。

この新年交歓会では昨年5月1日付けで旭日双光章を受章した唐沢さん、大津さんを迎え、多くの町関係者が列席する中、新年初めの挨拶を交わしました。



▲表紙の写真

表紙の写真

上毛かるた 競技町大会

町内児童による熱戦

平成30年1月10日、山村開発センターを会場に



▲白熱した競技の様子

開催された上毛かるた競技長野原町大会で撮影した一枚です。

今大会も町内4小学校より参加した児童たちが熱戦を繰り広げました。

☞旭日双光章について

⇒勲章「旭日章」の6等級のうち勲五等に相当する章で、国や公共に対し功労のある方に授与されます。

KITAKARU FLAME FESTIVAL

冬の
長野原町に
花が咲く。

第26回北軽井沢 炎のまつり in 北軽井沢ふれあい広場

平成30年2月10日(土)

16:00 開会式

16:30 祈願式

16:50 点火式(女神・巫女・使者隊)

17:00 祈願口ウソク点火

18:00 アトラクション(浅間鬼押し太鼓 他)

18:30 花火打ち上げ(約10分間)

19:00 終了

▶北軽井沢観光協会 0279-84-2047

<http://www.kita-karuizawa.jp/>

第18回 関東雪合戦選手権 浅間高原雪合戦

(第5回日本雪合戦選手権関東予選)

in 北軽井沢グラウンド特設会場

●平成30年2月10日(土)

レディースの部

一般の部(予選リーグ)

●平成30年2月11日(日)

一般の部

(準決勝リーグ・決勝トーナメント)

第17回全国小学生雪合戦大会

▶浅間高原雪合戦実行委員会

(長野原町役場内)0279-82-3013

<http://asamayukigassen.web.fc2.com/>



編集後記

明けましておめでとう
ございます。昨年の酉年
は「商売繁盛・収穫」と
いう意味があり、本年の
戌年は商売・収穫後にお
ける「守り」の年である
とのこと。一昨年から
申年・酉年・戌年と続
いて桃太郎の仲間がそろ
い、来年は亥年となるこ
とから本年は目標に向
かって突き進むための準
備や地盤作りには絶好の
年ではないでしょうか。
本年も議員一丸となり、
より良いまちづくりへ努
力して参る所存ですので
町民皆さまのご支援・ご
協力を賜りますよう心よ
りお願い申し上げます。

広報委員

委員長

委員

黒岩 明 巧
牧山 進
浅井 重男
富澤 重男